

笑顔いっぱいの学校

三重平中学校通信
H27. 6. 1 (月)
第 4 号

“麦秋”にふさわしい小麦色の田畑が学校の周囲に見られる季節になりました。梅雨入り前というのに、連日、最高気温が30℃を超えて真夏のような暑さが続いています。体が暑さに慣れていないこの時期は、特に熱中症に注意が必要です。こまめに水分を補給するなどして体調管理をしましょう。

さて、新学期が始まって2ヶ月が過ぎようとしています。ちょうど、1学期の中間地点になります。この2ヶ月をしっかりと振り返りながら、1学期後半に向けて気持ちを新たにがんばってほしいと思います。



◆◆修学旅行に行ってきました◆◆

5月21日(木)～23日(土)に、3年生が東京方面への修学旅行を行いました。少し天候も心配されましたが、旅行中の3日間ともさわやかな好天に包まれて行うことができました。

何より、3年生全員の96名が3日間を通して参加できたことがとてもうれしく思います。特に大きな事故やケガもなく、3日間の行程を目的に沿って計画通りに組み立てたことは、3年生の一人ひとりが修学旅行を成功させようと団結して行動できたからだと思います。

1日目は、新幹線のぞみで東京に着いた後、昼食の海鮮丼を食べて国会議事堂を見学しました。長い階段を上ったり下ったりしましたが、列が離れることもなく整然と見学でき、職員の方から「きちんとした生徒さんですね」とほめていただきました。その後、東京の下町を班別に分散して、チェックポイントを通過しながらスカイツリーを目指して歩きました。初めての土地で、すべての班が集合時間に遅れることなく行動できたことはすばらしかったと思います。全員で夕食をとった後、劇団四季の「ライオンキング」を鑑賞しました。観劇を通して、正義を貫く勇気と一人ひとりを認め合いながらつながることのすばらしさを感じられたのではないのでしょうか。



2日目は、ホテルから班ごとに分散してテーマに沿った学習を行いながら東京ディズニーランドを目指しました。班別分散学習では都内を公共交通機関を使って移動しながら様々な活動に取り組み、加えてディズニーランドでは楽しい時間を過ごすなど盛りだくさんの1日でした。



3日目は、「第五福竜丸展示館」で語り部の方による講話と全員で折った折り鶴の贈呈を行い、館内を見学しながら平和について学びました。語り部の方の講話を真剣に聞き、メモをする姿に職員の方から「すばらしい中学校ですね」の言葉もいただきました。続いて「そなエリア東京」では防災について体験型学習を行いました。その後、お台場で班別に昼食をとり「日本科学未来館」を見学した後、帰路につきました。

3日間を通して、修学旅行のねらいである『班活動を通して、協調性や連帯感を育てる』『都市文化に接し、体験学習を通して知見を広め、社会性を高める』の達成について、しっかりと取り組むことができました。今回の修学旅行でお世話になった多くの方から、「テキパキと迅速に行動できる生徒さんですね」「あいさつがしっかりとできる気持ちのいい生徒さんばかりですね」などの言葉を何度もいただきました。普段から、「自分からあいさつができる」「気づいたことは自分からすすんです」「周りの人への気づかいができる」などの行動ができることが大切ですね。また、修学旅行が楽しく充実できたのは、3年生が自覚と責任をもって活動できたことに加えて、多くの方にお世話になり、支えていただいたことに感謝することも忘れないでください。



三重平中学校コミュニティ・スクール(CS)学校運営協議会より

今年度の第1回CS運営協議会を5月19日(水)午後7時から三重平中学校相談室で行いました。本年度は、藤田耕司さん、小柴佐和子さん、服部玲子さん、川内陽子さん、松田澄代さん、根来進さん、宮本寛子さん、高島治美さん、二宮裕美さん、鈴木利典さんの10名で運営していただきます。また、委員の互選により委員長には根来さん、副委員長には藤田さんを選出していただきました。

会議は、上記の委員に学校から校長、教頭、林教諭、オブザーバーとして四日市市教育委員会から伊藤指導主事が加わり活発な話し合いが行われました。学校からは今年度の学校づくりビジョンとして、進路保障、絆づくり、保護者・地域との連携、さらに教職員の資質向上を重点的に取り組むことや、特に、今年から社会性を高めるライフスキル教育を活用した“平っ子タイム”を毎週月曜日の終学活の時間に行い、生徒同士、生徒と教師のつながりを深め、学び合いの学習に活かしていることの説明を行いました。また、委員からは、「中学生も地域の見守り隊の方々に大変助けられている。中学生になっても、見守り隊の方とはつながりがあり、いつも挨拶を交わしているのはいいことである。」「地域子ども教室で関わった生徒は、どこで会っても挨拶をしてくれる。大変うれしい。」「地域の活性化には、地域行事に中学生が参加してくれることが必要。」「今は、子どもの居場所づくりを考えることが大切である。子ども教室はその1つのように思う。」といった意見をいただきました。さらに、地域子ども教室について、「継続して子ども教室に参加していた生徒は、ほとんど希望した高校に進学できたので、大変うれしい。子ども教室が居場所になっていた生徒も何人かいると思う。」「もう少しボランティアさんを増やしていきたい。1つの方法として、地域の回覧板を使って募集を募ることができるのではないか。」「このような取組をするには、予算が必要である。その財源は行政で準備してもらわないとせっかくの取組が継続しなくなる。1年ではなくもっと先を考えて予算をつけるべきである。」といった意見をいただきました。

次回の運営協議会は6月22日(月)に行う予定です。



キャリア教育講演会～「未来を見つめて今を生きる」～

5月21日(木)に1・2年生で、元四日市中央工業高校校長の寺田卓二さんを講師に「未来を見つめて今を生きる～中学生のうちに身につけておきたいこと～」と題して、キャリア教育講演会を行いました。

冒頭に、四中工のサッカー部OBで、現在、サンフレッチェ広島で活躍している浅野拓磨選手の「中学生の時から何か一つのことでもいいから打ち込んでほしい」というメッセージを紹介していただきました。そして、浅野選手の経歴にふれながら、『夢もつこと・目標をもつこと』の大切さについて話をいただきました。また、“夢の持てないあなたへ”として、まず“自分”を知るために家族や周りの人に“自分”について聞いてみることから始めよう、そして「他人の役に立つ人(仕事)を目指そう」と話されました。その中で、『ありがとう』の言葉の大切さとともに、どんなことでも“知っている人”より“できる人”を目指そうと言われました。

また、2年生が6月3日(水)から3日間、職場体験学習を行うことにも触れて、「事業所(会社)のこんなところを見てみよう!」と題して、『あいさつ・整理整頓・明るい雰囲気』の大切さについてもお話がありました。これらは、学校や教室にも当てはまります。さらに、「高校の選び方」や「進学先で失敗しないために大切なこと」なども講演していただきました。

特に、寺田先生の講演の中で、「中学校でやっていることは、すべて必要になる!」という言葉と、『聞いたことは忘れる、見たことは覚えている、経験したことは使える(応用できる)』という話がとても印象的でした。

最後に「皆さんにいっぱいあるのは未来と可能性です」の言葉とともに、『三重平中学校の皆さんに期待しています』に勇気をいただいたように思いました。

